

第3期八戸市中心市街地活性化基本計画の変更に対する意見書

今回、基本計画に追加された「市道番町線無電柱化事業」「国道340号電線共同溝整備事業」及び「八戸市中心街ストリートデザインビジョン事業」は、ひと中心の居心地が良く歩きたくなるストリートづくりや回遊性向上に寄与する事業であり、施設整備が一定程度進んだ当市において、時宜に適したものとする。

また、「八日町番町地区まちづくり事業」は、本年度リニューアルオープンした八戸市美術館の隣接街区における民間再開発構想を推進し、新たな都市機能を整備するもので、公共施設の波及効果拡大と官民連携の観点からも大いに期待したい。

そのほか、「ポータルサイト『はちまち』運営事業」「都市再生推進法人事業」は、これまでと異なるアプローチで中心市街地の求心力を高め、主としてソフト面から活性化に繋げる事業として期待したい。

一方で、長期に渡って続く新型コロナウイルス感染症に伴う来客数や売上の減少は、中心市街地に立地する個店や商店街に多大な影響を与えており、八戸市中心市街地の置かれた現状は厳しいものがある。

八戸市におかれましては、現下の厳しい状況も勘案し、計画掲載事業の更なる見直しや新事業の必要性等については、当協議会と随時、協議を行うなど、今後とも特段のご配慮を賜りたい。

八戸市中心市街地活性化協議会

会 長 河 村 忠 夫